

2019
Vol.02

CLASS1 ARCHITECT

一級建築士に直接お届けする建材フリーマガジン。

建築家 遠藤克彦

3.11をきっかけに、
今、人々が^まと纏うべき
建材とは。

集合住宅 Ark 久が原

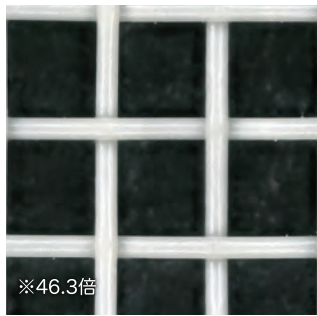


80メッシュの細かさ、シルクのような肌触りで従来のイメージを覆す網戸です。

AJスカイメッシュ

80メッシュ、約0.25ミリの目合いが実現する、驚きの快適性。

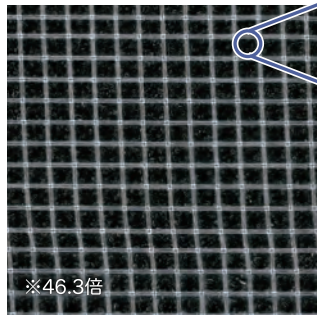
一般的な網戸(18メッシュ)



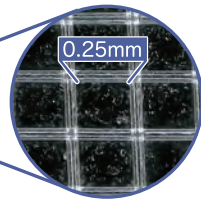
※46.3倍

目合い:1mm

AJスカイメッシュ



※46.3倍



80メッシュ
目合い:0.25mm

素材:ポリエステル
日本製



1mm以下の小さな虫を通しません



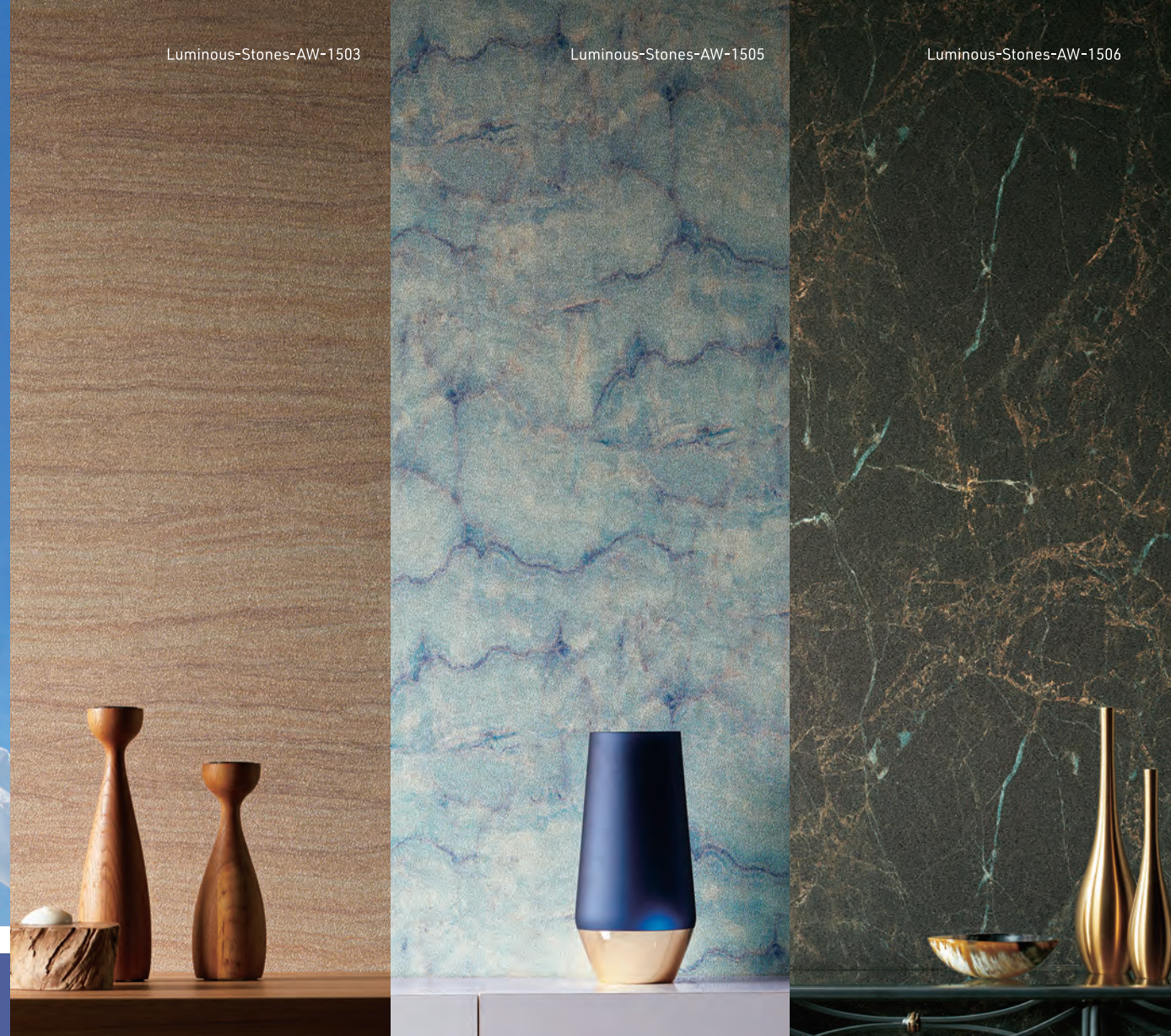
風70%
光80%

風は70%、光は80%通します

Luminous-Stones-AW-1503

Luminous-Stones-AW-1505

Luminous-Stones-AW-1506



光との調和により、個性あふれる空間を演出する壁紙



ACCENT
by Wallcoverings



<http://www.accent-wall.com/>

collaboration
KENZAI
コラボレーション建材

新企画

コラボレーション建材でもご紹介!

詳しくは17ページへ

製造・販売元

エイ・ジェイ・テックス株式会社
AJ TEX CORPORATION

福井県大野市葛蒲池50-58
TEL 0779-66-1671 FAX0779-66-1670
<https://www.ajtex.com>

商品詳細・ご注文はこちらから

AJスカイメッシュ



注文時、フォームの備考欄に「CLASS1 ARCHITECT見た。」で商品代10%OFF!

☎ 050-5896-1119

受付時間 月~金/ 9時~12時・13時~17時

「CLASS1 ARCHITECT見た。」とお伝えいただくとスムーズです。

富士工業株式会社

東京事務所 / 〒105-0014 東京都港区芝2-3-25NIKIビル3F
TEL : 03-3452-4560 FAX : 03-3452-4561

自由なシーンで
文字が すぐに 映像が
書ける 消せる 映せる

がうす でできたホワイトボードです。

MAGIC WALL
マジックウォール

宮吉硝子株式会社
https://www.miyakichi.co.jp

[東京オフィス]
東京都千代田区有楽町2-7-1
有楽町イトシア12階

[大阪オフィス]
大阪府大阪市中央区
瓦町1-7-15 1102

商品に関するお問い合わせ Mail : kaihatsu1@miyakichi.co.jp

あなたが購入するフローリング
1m²当り同種の苗木1本が原産国に植林される
SDGs時代のフローリング

オルタナティブ無垢フローリング

通常の無垢フローリングに
機能性でもなく利便性でもない
最も重要な価値である
「持続性」を加えています
旧来から市場にある無垢フローリングと
同程度の金額と品質であるにも関わらず
購入金額の一部が
植林費用に充当されるため
環境を改善することができるからです
これは消費ではなく
22世紀への贈物になります

オルタナ 無垢フローリング 検索

chord(コード) 一級建築士事務所
tel: 03-6876-0924
e-mail: cho@shizenmuku.com
https://www.shizenmukusystem.com

CLASS1 ARCHITECT

一級建築士に直接お届けする建材フリーマガジン。

主役は建材。

建築家が選りすぐりの建材を
アクティブに紹介する
建材専門誌

CONTENTS

05 3.11をきっかけに、 今、人々が纏うべき建材とは。

建築家 遠藤 克彦 Ark 久が原

タケイ工業株式会社 「躯体防水」
有限会社 阪本製作所 「金物」
アイオーシー株式会社 「IOCフローリング」

14 ARCHITECT'S Q&A

聞きたくても聞けない、建築家が出合った特別な建材を一挙ご紹介！

17 新企画 コラボレーション建材 遠藤 克彦 × 富士工業株式会社

18 モニター建材 新製品を中心とした無料のモニター企画

21 新たな地域建材と出会う、見つける。 LOCAL建材 「箔」が持つ、新たな魅力。



ARCHITECT'S PROFILE



建築家 遠藤 克彦

略歴

株式会社 遠藤克彦建築研究所代表取締役
1970年 横浜市生まれ
1995年 東京大学大学院 工学系研究科建築学専攻修士課程修了
1997年 遠藤建築研究所設立
2007年 株式会社 遠藤克彦建築研究所に変更
2019年 日本大学大学院 非常勤講師
東京都市大学 非常勤講師

主な作品

Ark 久が原
15WINDOWS「池田山の集合住宅」
東京大学生産技術研究所 アニヴァーサリーホール
株式会社ユーキャン代々木ANNEX
豊田市自然観察の森ネイチャーセンター

受賞歴

2011年 第19回 愛知まちなみ建築賞
2012年 第24回 日事連建築賞
第44回 中部建築賞
2013年 茂木町中心市街地拠点整備事業基本設計業務
公募プロポーザル(最終選考案選出)
2016年 第15回 公共建築賞 優秀賞
グッドデザイン賞受賞
2017年 大阪新美術館公募型設計競技(最優秀案選定)
2018年 茨城県大子町新庁舎建築設計業務
公募型プロポーザル(最優秀)
他多数受賞

3.11をきっかけに、 今、人々が^ま纏うべき 建材とは。

今回紹介するのは、遠藤氏が手掛けた集合住宅「Ark 久が原」。
同建築物は東京都大田区の閑静な住宅街に位置しており、都市部
における集合住宅の在り方が追及された建物だ。遠藤氏が集合住宅
の在り方について考え始めたきっかけは、2011年の東日本大震災。
当時、遠藤氏は東京で被災したという。その経験をきっかけに、遠藤
氏は「住居者同士が、いざという時に助け合える環境をつくる必要
があり、事前に少しでもコミュニケーションを温めておくことが重要
で、その環境づくりを建築というツールが担っている」と語っている。
このような想いから、Ark 久が原は住居者同士で「どのような人が
住んでいるのか」を普段から感じ取れるようにデザインされた。

その象徴ともいえるのが、メインの中央階段とリビングテラスだ。
中央階段は、各階の住居者が顔を合わせてコミュニケーションを生
み出す場として活用されており、ここでは住居者同士がお互いを直
接知ることができる。またリビングテラスは、リビングの延長として各
住戸の玄関に設けられた半屋外空間で、住居者は観葉植物を置い
たり、洗濯物を干したりと、自由にこの空間を活用することができる。
これにより、廊下を歩く人は、住居者の生活観を間接的に垣間見
ることができるのだ。
「こうしたプライベートが滲み出る仕掛けをデザインすることにより、
住居者は集合体および共同体としての意識を持つことができるの
ではないだろうか」と遠藤氏は語る。



Ark 久が原

〒146-0085 東京都大田区久が原3丁目33-17
設計 / 遠藤克彦建築研究所 2015年竣工
撮影 / 上田 宏

3.11をきっかけに、 今、人々が纏うべき建材とは。

MATERIAL 01 躯体防水

安心・安全を未来に繋ぐ防水コンクリート

Ark 久が原に使用された建材の中から、設計者である遠藤克彦氏に選りすぐりの建材を3つご紹介いただきました。
さらに各メーカーさんの“ものづくりの舞台裏”にも迫ります。



上/Ark 久が原 斜面状の屋根



なぜ、採用したの？
ARCHITECT'S VOICE

タケイ工業さんには、Ark 久が原の斜面状の屋根に躯体防水を施工してもらいました。タケイさんは防水の品質が非常に高く、クライアントに対してきちんと価値提供しようとする姿勢が素晴らしい。現代の建築では、コンクリートの表面にただベタッと防水材を塗るだけのものもありますが、僕はこれが正しい防水の形なのか、疑問を抱いていました。だから、コンクリートのみで防水を完結できる「躯体防水」は、今の自分の考え方にとてもフィットする防水法ですね。



3 メーカーさんへ聞いた、 3つの開発秘話



タケイ工業株式会社
船山 信夫 さん

“タケイ式”躯体防水の歩み

タケイ工業は社員30人ほどの小さな老舗の防水工事店。自社開発を繰り返して、特許を取得した防水液と、職人の技術を用いた責任施工を行っています。私たちタケイの歴史は古く、明治時代にコンクリート研究者であった武居佐源次がコンクリートの基礎研究をイチから行ったことが全ての始まりです。その研究結果は、「セメントの水和反応を促進させることにより、防水コンクリートをつくる」というものでした。一般的な防水コンクリートというのは、無機質な素材を使用しているので、コンクリートの極端な劣化がなく長期間防水性能は変わりません。また、被膜がないのでメンテナンスが容易にできるのも特徴ですね。そのなかで当社は、長年の改善・改良の結果、特許を取得した2種類の防水コンクリート液と、職人の技術を併せた責任施工を事業の柱に、多くの方々から支持を頂いております。

“コンクリートも生き物”

コンクリートって、上手く打設することが当たり前なんですけど、コンクリートも“生き物”なんです。だから、どうしてもジャンカなどが発生してしまう時がある。そのような場合、私たちは防水工事店として、不具合を見落とすことなく、責任感を持った引き渡しを行いたいと思っています。例えば、今回のArk 久が原で打設した躯体防水は、屋根が斜面状であったため、防水工事が非常に難しかった。その理由は、蓋処理を行ったためです。この蓋処理はコンクリートが流れ落ちないようにするためのもので、施工時に表面が見えない。だから、いざ蓋を開けてみると中でジャンカが発生してしまう可能性があり、一度で綺麗に打つことが非常に難しいんです。これが、Ark 久が原で最も苦戦した部分ではありましたが、責任感ある職人の技によって、最後は1つとして不具合のない状態で引き渡すことができました。

綺麗に打ちたい想い

当社では、職人たちの要望から月に1~2回勉強会を開き、全職人のボトムアップを働きかけています。当社の技術は特殊なので、施工時のケースバイケースがとて多いんです。例えば、季節によって3号液を撒くタイミングが違う。このような場合に「あの時はどうしたらよかったんだろうか？」と皆で議論することが良いボトムアップに繋がっているのだと思います。私は、職人たちの「綺麗に打ちたい」という想いは、他社に負けない自信があります。だから、万が一綺麗に打てなかった場合は、当然ですが、職人が直出し迅速な対応を行います。私たちは防水工事店だから、直す際はゼネコン任せではなく当社が責任を持って直す。その責任の持ち方が、タケイらしさなのだと思います。

タケイ工業の主な特徴

① 自由な屋根デザインを叶える

特許取得の*タケイ液2種類+タケイ職人の技術により、パラペットを不要とした屋根を実現。フラットな形状から、丸みを帯びた曲線まで、様々なデザインを可能に。

② 防水保証 10年付きの責任施工工事

ワイヤーメッシュの敷き込みから防水二次処理まで責任施工の防水工事を丁寧に行う。保証期間内の調査や補修工事にも、状況に応じて迅速に対応。

③ 将来的なメンテナンスのしやすさ

万が一、防水工事で漏水してしまっても原因の早期発見と敏速な補修が可能。また、部分的な小規模補修にも対応している。

コンクリートの将来性を担う防水法

コンクリート防水では、ヘアークラックやジャンカなどを含めた漏水を防ぐため、「コンクリートの表面に防水材を塗る」という手法を取ることが多い。しかし、この手法はあるリスクをはらんでいる。それは、「起こりうる問題の原因究明を困難にさせる」ということだ。仮に漏水などの問題が生じた場合、通常は防水材を剥がさない限り、原因を見つけ出すことが難しい。ところが、タケイ工業の躯体防水は、コンクリートそのものが防水体であるため、上から防水材を塗る必要がなく、問題が生じた際の原因究明が容易にできる。つまり、建築そのもので勝負することができるのだ。それは数十年後の状態を問題視した際に、クライアントに対して、メンテナンス上の時間とコストカットを提供できるということにも繋がる。そもそも躯体防水は、躯体そのものに漏水の不安がない状態で、次の作業フェーズに入れるため、施工品質も高い。これには、コンクリートを密実に打つタケイ工業の施工技術が大きく貢献している。今回、ご紹介させて頂くタケイ工業の躯体防水は、“現代のコンクリート防水における問題解消を助長する建材”と言えるのではないだろうか。

*タケイ液2種類とは躯体防水用特許液の2号液・3号液を指す。
2号液:水密コンクリートをつくるための水和反応促進、水和度を上げる混和剤
3号液:2号液と組み合わせることで、更に表面を強化させる浸透性防水剤



タケイ工業株式会社

〒116-0014
東京都荒川区東日暮里5丁目12番1号
TEL 03-3891-8176
FAX 03-3891-8179
<http://www.takeibousui.com/>



上/鑑戸以外にも手摺や階段などArk 久が原に採用されている金物は全て阪本製作所によって製作された。
右/各住戸の玄関となる「鑑戸」



3つの開発秘話

メーカーさんへ聞いた、

お話を伺ったのは...



有限会社 阪本製作所
阪本 彰夫 さん

01 建築家の想いと使い勝手を両立

今回、Ark 久が原の金物を製作するにあたって、特に力を入れたのが鑑戸でした。この鑑戸製作では、各部屋でサイズが全て違ったため、全12戸分をオリジナル製作するという、とてつもない作業が必要となりました。そのうえ、鑑戸をはめ込む周りのコンクリートが先に造られてしまっていたため、数ミリの狂いも許されなかった。だから、サイズ計測にはいつも以上の正確さが求められましたね。それに、金物の扉では2〜3本の骨で補強するのが一般的なのですが、遠藤さんからの要望は、「骨がない枠のみの扉」というものでした。これを実現するために、モックアップを通して遠藤さんと何度も確認しあった結果、やっと要望に沿うものを造り出すことができました。私は、金物づくりで大切なのは「使い勝手」だと思っています。そのため、今回のArk 久が原でも建築家さんの想いを尊重しつつ、住居者がどのような使い方をするのかを想像しながら、金物づくりに取り組みました。

02 挑戦から得る利益以上の価値

製造をメインとする会社は、難しいことやコストが合わないことに対し、あまり前向きでないように思います。ですが私たちは、これまでに前例がないうえに利益もほとんど出ないような依頼を何度も引き受けてきました。その理由は、当社は「難しいことにも常に挑戦していこう!」という意識を持っているため。だからこそ、私たちはどんな要望を受けたとしても、まずはチャレンジしてみることを心掛けています。それに、見たことも聞いたこともないものをつくるということは、率直に「面白そうだ!」と感じるんです。そのような案件を引き受けると、大抵、利益は出ないのですが、同時にそれ以上の価値を得ることもできていますね。こうして、数多くの困難な案件をやり遂げたことで得た自信とノウハウが、また次の挑戦の原動力になっているのだと感じています。

03 金物職人の揺るぎない熱量

私たちは、「金物は建築の見せ場のような存在である」と、一人ひとりが職人魂を持っています。ですが、クライアントが建築家さんとなると、時に一筋縄ではいかないような、奇抜な要望を受ける場合もある。それでも、私たちはプロの金物職人なので、製作の際は作り手としていつも完璧なものをつくりたいと思っています。そのため、「メッキの種類によって起こり得る現象は、漏れなく伝える」「クライアントが納得いくまで作業風景を見てもらう」そして、「必要な数だけモックアップを造る」といった、一つひとつの工程をととても大切にしながら提案していますね。このように、私たちには「どんなに難易度が高いものでも、できる限り追求して完成度を高めたい」という想いがある。そういった想いでは、建築家さんに引けを取らない熱量を持っていると日々感じています。



なぜ、採用したの?
ARCHITECT'S VOICE

阪本製作所さんはArk 久が原の施工会社から紹介された金物屋さんです。阪本さんはモックアップを何度も試作しながらものづくりに深く関わってくれるので、イメージにより近いものをつくることができます。今回のArk 久が原では、階段や手摺、リビングテラスの鑑戸を製作してもらったのですが、どれも質が高くとても満足しています。

阪本製作所の主な特徴

① 挑戦への高い意欲

どれだけ難しい案件でも、「まずはやってみよう!」と挑戦する姿勢を持ち、クライアントの要望を実現する。

② コンセプトに寄り添う姿勢

クライアントとの綿密な打ち合わせを通し、建築のコンセプトへの理解を深めたくて製品づくりを行う。そのため、阪本製作所の金物はイメージの実現に大きく貢献してくれる。

③ 幅広い案件に対応

表札・スチールフレームなどの小規模製作からArk 久が原の金物のような大きな製作物まで幅広い案件に、真摯に対応してくれる。

リビングテラスを機能させる鑑戸

今回、阪本製作所の造ったリビングテラス入り口の鑑戸が、Ark 久が原の「住居者同士の生活を普段から感じる」というコンセプト成立の鍵を握った。この鑑戸は網状で、空気がよく通り、廊下からリビングテラス全体が見えるように設計されている。それにより、リビングテラスを半外部、半内部という空間に仕上げることに成功したのだ。その過程には、「どうしたら扉がうまく閉まるか」「針金などで簡単に開けられてしまうのを防ぐにはどのような鍵が良いか」などのセキュリティ問題も生じたが、阪本製作所と遠藤氏が試行錯誤した結果、コンセプトと機能性を両立させるものが出来上がった。こうして完成した鑑戸により、Ark 久が原の要となるリビングテラスを有効機能させることができたのだ。これは紛れもなく、建築家と共にコンセプトの成立を目指す、阪本製作所の「手」があったためではないだろうか。



有限会社 阪本製作所

〒135-0002
東京都江東区住吉1-8-2
TEL 03-3632-0250
FAX 03-3635-0944
<http://sakamotos.p-kit.com/>

3 メーカーさんへ聞いた、
3つの開発秘話



アイオーシー株式会社
津田 龍太郎 さん



原寸大の断面図



なぜ、採用したの？
ARCHITECT'S VOICE

IOCフローリングは事務所のスタッフが見つけた建材で、ずっと使っていたと思っていました。Ark 久が原では全住戸のフローリングに使っていて、住戸によって性格を出すために様々な種類を使用しました。それに、古材を表面材に使ったりなど、アバンギャルドで意欲的なアプローチを仕掛けようとする会社の姿勢も僕は好きですね。



01 建築士の声から生まれた
“心地良いフローリング”

このIOCフローリング開発のきっかけは、創業当時のヒアリングで建築士の方々から口を揃えて言われた、「大手のフローリングはどれも光っていて、柄も同じ。色のバリエーションも少なく選びようがない」という一言でした。それに、他社と同じような商品では戦う場所がない、という考えもあって、「他社がやっていないことをやろう！」と思ったんです。そして私が目指したのが、とにかく自然的で本物感のある、健康志向のフローリングでした。私はフローリングはあくまで脇役だと思っています。だから、フローリングの存在感というよりは、家具やインテリアにうまく馴染むようなものをつくりたいと思ったんです。そんな想いで、私は大手とは逆の「心地よい空間を創造するためのフローリング」を実現させるべく、IOCフローリングの開発をスタートさせました。

02 素材そのものの魅力を活かす

私は、フローリングは「自然」であることが大切だと思っていて、IOCフローリングではその要素を様々な側面で表現しました。例えば、よく流通しているフローリングは、印刷で木目を付けているため、柄が均一すぎて不自然に見える。一方で、IOCフローリングの場合は本物の木をそのまま使っているので、色や模様が自然になり、空間に表情が出るんです。また、塗装も木が呼吸できるように浸透性のあるオイル塗装を施し、質感は木の断面のようなマットなものを意識しました。私は必要以上の加工はせず、素材がもつ魅力を活かしたフローリングが好きなんです。今回遠藤さんに使ってもらった“ウォールナット20クリアオイル”は、まさにドストライクな製品のひとつなので、Ark 久が原に使用頂けてとても嬉しく思います。

03 皆の力で創り上げる“IOC商品”

弊社の経営理念は“感動を創造する”——これには、「こんなものがあつたらいいな」というお客様の声を元に、“お客様が感動するものを創り出す”という想いを込めています。私は、この理念は決して我が社のみでは成立させることは出来ないと思っています。例えば、IOCフローリング製作では質感にこだわり、創業から半年間は毎日のように「ああでもないこうでもない」と工場の皆で手塗りの実験を繰り返しました。その後も月に2回工場に入って、何度もサンプルを造り、工場と一緒に商品づくりを進めていきました。このように、IOCはお客様の要望に応えられる商品づくりを、工場をはじめ、建築士さんや施工者、施工者と共に行って来ました。そんなIOCの商品は、関わって下さる皆さんがいたからこそ、出来上がった商品ばかりです。

IOCフローリングの主な特徴

- ① 高い自由度
基本的に受注生産でバリエーションが豊富。希望の樹種や色を組み合わせ、建築士のイメージを実現してくれる。
- ② 床暖房にも対応
複合フローリングのため、表面は無垢でありながら床暖房に対応している逸品。木材の反り・膨張・収縮などのトラブルの心配も少ない。
- ③ 柔軟な対応力
商品の多品種・小ロット生産をベースに、邸別生産しているため、現場に直接商品を届けることを実現。そのほか、特注要望にも柔軟に対応している。

無垢の厚みが生み出す効果

一般的に無垢のフローリングは一枚板であることが多い。しかしこのIOCフローリングは積層板で、表面材のみが無垢であることがポイントだ。そして、この無垢材は、一般的な表面材と比べ非常に豊かな厚みを持っている。それにより、IOCフローリングは「材」としての安定性と無垢の良質な質感が生み出す表現力を、うまく両立させているのだ。コストは決して安いわけではないが、本製品が持つ安定性は値段に引けを取らない、確かな価値を持つ。それに加え、この無垢の厚みは、床が傷ついてしまう不安をもカバーしてくれる。仮にフローリングに傷が付いてしまっても、厚みがあるため表面のみ削り、もう一度新しい面を表出させ塗装することができるのだ。このようなIOCフローリングの魅力は、薄い単板のフローリングと比較すると、施主にとっての付加価値と言えるのではないだろうか。



アイオーシー株式会社

〒461-0004
名古屋市東区葵1-6-7
大昌ビル302
TEL 052-931-3337
FAX 052-930-3502
<https://www.iocjapan.biz/>



ARCHITECT'S Q & A

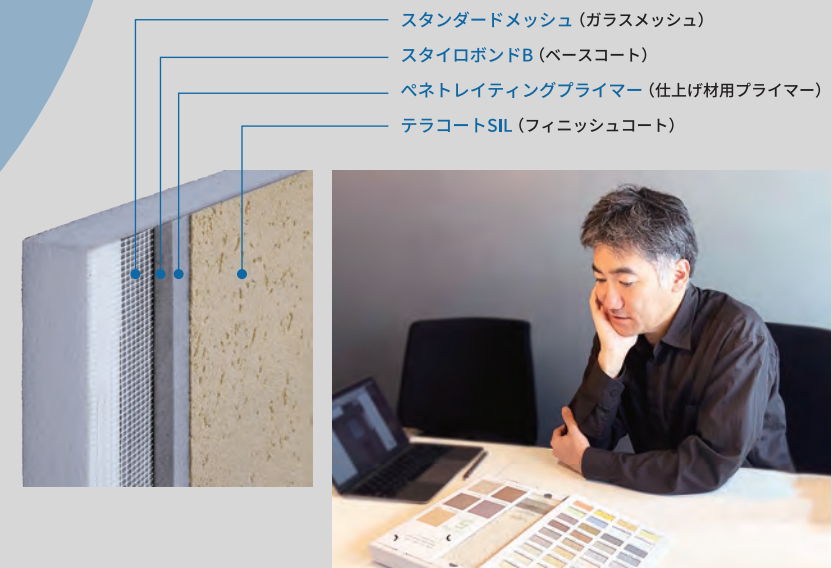
vol.02

あの建築家は普段どんな建材を使って、どんな価値観を持っているんだろう？ そんな、聞きたくても聞けない“ここだけの話”、建築家がテーマに沿って特別に語ってくれました。

Q 省エネ度が高い建材を教えてください。

A **エコサーム**

1



施主の懐に優しい外断熱システム

このエコサームは、外装材と断熱材が一体化しているため、一般的な断熱工法に比べ施工期間を短縮できます。それが結果的に建物全体のLCC（ライフサイクルコスト）の低減に繋がるので、省エネ度が高いんです。そのうえ、優れた断熱性能を発揮してくれるので、コンクリート建築の場合でも、省エネ効果で光熱費を抑えることにも繋がる、施主に優しい建材です。例えば集合住宅のオーナーであれば、温熱環境が担保された賃貸を展開できるという部分もメリットになるかもしれませんね。それに、ガラスメッシュ、基材、プライマー、表面のフィニッシュコートなどの下地の仕様がしっかりしているため、表面のクラックが起りにくい。これは塗りの材料として重視している部分で、色々なものを試しましたが、エコサームが一番優秀でした。最近では、池田山のコンクリート集合住宅で使ったのですが、多くのテクチャーと色を作ってもらえたうえに、コストパフォーマンスもすごくよかったです。建築はコストの問題の中で最善を尽くさなければならないものですが、エコサームは表現力と性能を持ちつつ、コストがきちんと収まるので、建築家としてとても使い勝手がいい建材です。

5 遠藤克彦氏が選ぶ 5つの建材

- Q1. 省エネ度が高い建材
- Q2. 技術と素材が活かされた機能建材
- Q3. 最も思い出深い建材
- Q4. 現代性を感じる建材
- Q5. 今後、挑戦したい建材

揺らぎが魅せる、温かさ

レトロ風ガラス

昔ながらの建物に使用されるガラスは、映像が揺らいで見える手作りのような温かみがある。そんな温かみを漆器の技術を利用した透明の塗装で表現しました。
古民家のリノベーションなどにいかがですか？

製品情報
●SRG-002

DG デザインガラス.COM
福井県福井市米松2丁目24-8
TEL 0776-54-4557 FAX 0776-54-4566

まずは**無料サンプル**で
品質をご確認下さい。
<https://www.des-glass.com>

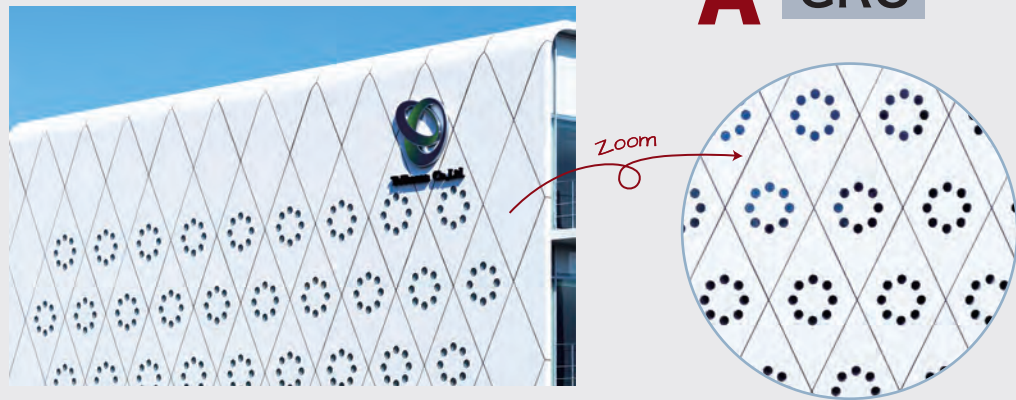


東邦レオ株式会社
しあわせ環境クリエイター
東邦レオ株式会社

東邦レオ株式会社
〒170-0004
東京都豊島区北大塚1-15-5
TEL 03-5907-5600
FAX 03-5907-5610

Q 技術と素材が活かされた機能建材を教えてください。

A GRC



優れた表現力が魅力の最先端コンクリート

GRCは、鉄筋の代替として細いガラス繊維で補強されたコンクリートで、表現の自由度が非常に高いところが最大の魅力ですね。「なぜ表現の自由度が高いのか?」という、このGRCはコンクリートでありながら鉄筋などの重い骨材がないので、圧倒的に軽いです。だから、製作範囲内のサイズであればどんな形でも実現できる。建物の設計によっては、コンクリート内部にスチールを止めるためのロッドや水抜き穴なども製作してくれます。

このGRCは表面仕上げも自由にオーダーができる。これは型の造り方にポイントがあるのですが、例えばまずハケ引き仕上げの素材を型にはめ込み、鑄型を造る。そこにGRCを吹き付けていくと、表面がハケ引きのように仕上がる。だから、GRCは型の造り方次第で、様々な素材の表情を再現できるコンクリートなんです。手法は「型に入れて固める」とすごく古風ですが、素材が最先端なので新しいものができる、まさに技術と素材を活かした建材だと思います。

AGB

旭ビルウォール株式会社
〒111-0036
東京都台東区松が谷1-3-5
JPR上野イーストビル8F
TEL 03-5806-3110
FAX 03-5806-9688

2

Q 現代性を感じる建材はありますか?

A クヴァドラの
テキスタイル



空間に柔らかさを生むテキスタイル

僕は今後、建築が「硬いものだけでカチッとつくられる」空間から、「100%分けられるのではない、柔らかさを持った」空間に変化していくと考えています。そして、それは色が付いていながらもガラスのように透明度が高く、空間を規定していく材料であると、可能性を感じています。このクヴァドラさんのテキスタイルには、そういった現代的な柔らかさを感じます。例えば、カーテンとしてただ区切るだけでなく、布の絶妙な暖かさで上下階を仕切ることによって空間に柔らかさを出すことができる。雰囲気ハードに留まらず、人肌に当たる柔らかさのようなデザインで人間に近づいていけるのが、テキスタイルならではの良さですね。それに、色がとても綺麗で、布自体が光を受けたときに奥行きを持つのも特徴的です。価格はこの秀逸なクオリティに相応ですが、クヴァドラさんのテキスタイルにはそれを上回る魅力が詰まっているため、結局いつも使っています。こういった、空間に柔らかさを生み出せる素材はなかなか貴重なので、クヴァドラさんのテキスタイルに今後も注目していきたいですね。

Kvadrat Japan株式会社
〒107-0062
東京都港区南青山3-4-6
TEL 03-6455-4155
https://kvadrat.jp

kvadrat

3

Q 最も思い出深い建材は何ですか?

A メトロポリス



外の風景を映し込む高反射性タイル

僕は公共建築を手掛けるようになる前に、10年ほど別荘建築を経験し、そこで建築における礎のようなものを築きました。このメトロポリスはそのときによく使用していた、とても思い出深い建材です。メトロポリスは、ツヤが綺麗な30~60cmの大判磨きタイルで、その反射性により外の風景を建物の中に上手く映し込んでくれるところが最大の魅力です。この映像調整が素晴らしく、タイルに映る画がぶれないように、外の光を天井にも反射させるので、メトロポリスは場所以上の「広がり」を見事に演出してくれるんです。別荘では非日常を設計したかったため、周りの風景を持ち込む床材として多用しました。それに、タイルは焼き物なので平滑に造るのがとても難しいのですが、このメトロポリスはタイルとしての精度が非常に高いんです。そのような表情の豊かさやクオリティを兼ね備えたこのタイルだからこそ、あの空間に特別な開放感を演出できたのかもしれない。

(※現在本製品は販売終了となっていますが、LIXILではその他磨きタイルを複数取り揃えています。)

LIXIL

Link to Good Living

株式会社LIXIL
〒100-6036
東京都千代田区霞が関3丁目2番5号
霞が関ビルディング36階
TEL 0120-179-400

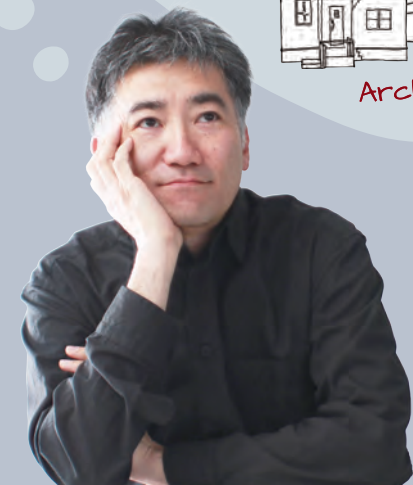
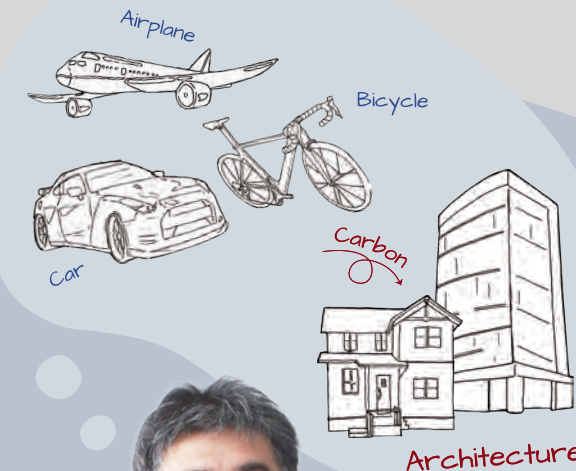
Q 今後、挑戦したい建材はありますか?

A カーボン

建築の新しい可能性を秘めた素材

カーボンは炭素繊維の、圧倒的な軽さと強度を持った素材で、飛行機や車、自転車などにも使用されています。一方で、建築は他業界より5~10年遅れていて、カーボンが使われる場面がまだまだ少ないんです。だから、建築においてカーボンの可能性を広げるきっかけ作りができればと日々考えています。地震が頻繁に起こる日本の建築では、カーボンは非常に重宝すると思うんですよ。軽いことで構造負担を減らせるように、少しの材料でかなりの強度を与えることができる。例えば、300mm角の柱を、カーボン1mmくらいの厚みで自立させられるかもしれません。そうすると、楽に建物が造れるようになりますよね。引張強度を考えるととても面白そう。でも、カーボンは耐火性の問題を抱えているので、建築ではまだ浸透していないのが現実なんです。

僕は、カーボンが建築に使われる出口は、意匠に設備と構造がインテグレートされて行く過程の中にあると思っています。今の建築施工は、まず基礎を作り、骨組みを立て、設備を配置し、仕上げを行う。という流れが一般的ですね。でも、カーボンには構造と仕上げを一体的に、さらには設備性能も備えた骨組みのような、いわば「モノコック」な建築の可能性を秘めているのでは、と考えています。カーボンは、建築の形態を変える可能性を秘める、避けては通れない素材です。ただ、大きな建築では勝負しにくいので、まずは小さな建築から始めたいですね。



コラボレーション建材とは、CLASS1 ARCHITECT編集部の「“建材”の枠に新たな可能性を広げたい、何か面白いことを始めたい！」という想いからスタートした、建築家と建築材料・インテリア資材の製造メーカーによるコラボレーション企画です。
建築家ならではの着眼点と、製造メーカーの新製品開発に向けた熱い想い。この両者が融合するストーリーにCLASS1 ARCHITECTが迫ります！

遠藤克彦建築研究所 建築家

遠藤 克彦

富士工業株式会社
代表取締役社長
南光 雅仁氏



遠藤克彦建築研究所
建築家
遠藤 克彦氏

素材系壁紙専門メーカー

富士工業株式会社

1st CONTACT

両者顔合わせの後、まずは富士工業の本社工場にて、製造工程を見学。その後、富士工業の企業理念をはじめ、事業内容や今後の展望、抱える課題を皆で共有しました。



工場見学では、自然素材やリサイクル材料を“骨材”として使用した壁紙をはじめ、エンボス加工やデジタルプリントを使用した壁紙の製造工程を見学。また、世界初の試みともいえる「骨材とデジタルプリント」を組み合わせた独自の技術も拝見し、富士工業の特徴や製造技術への理解を少しずつ深めていきました。

壁紙業界が日本市場において抱える大きな課題の一つが、消費者に「壁紙はライフスタイルに合わせて張り替えるもの」という認識がほとんどないということ。その他様々な業界の課題や現状を理解しつつ、遠藤氏も建築家視点でみた、様々な発想やアイデアをその場で共有。お互いの視点を深く理解しながら、第1回目の打ち合わせを終えました。



遠藤氏より

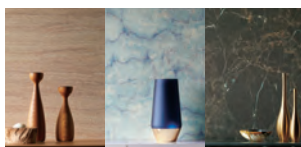


今回の富士工業さんとのコラボレーションでは、あらゆる市場ニーズを紐解きながら、壁紙の新たな可能性を見つけたいと思っています。その中でも、流通における洞察はとても重要ですので、富士工業さんとの連携を取りながら、着実に進めていきたいと思っています。

南光氏より



今回のコラボレーション企画によって、自分たちでは思いつかなかった壁紙が、建築家さんのアドバイスで製品化できたら嬉しいです。今後どのような展開になるのか、今からとても楽しみです。



富士工業株式会社

福井県福井市に本社を置く、壁紙を専門とした製造販売メーカー。「品質にまごころこめて」を合言葉に、環境活動に配慮した自然素材やリサイクル材料を用いた壁紙、デジタルプリントを駆使した壁紙など、製造の幅を広げている。また、大手インテリアメーカーを中心に国内外にもビジネスを展開しつつ、近年では、自社ブランド (ACCENT by Wallcoverings) の企画製造販売にも取り組む。

[福井本社] 福井県 福井市 上河北町 1-48
Tel:0776-41-3350 Fax:0776-41-3615 <http://fuji-kogyo.co.jp>

第2回

モニター 建材

新製品を中心とした無料の建材モニター企画

ご応募いただいた方の中から、抽選で製品をモニタープレゼントいたします。
応募から始まる新たな繋がりにどうぞ期待！

- 01 織部製陶株式会社 — クレイマイスターライト
- 02 江間忠木材株式会社 — エステックウッド アッシュ ラフ
- 03 株式会社SHY — ZIPrail® Screen
- 04 株式会社クリエイトダイス — デザインフェンス カターゴ

- WEBでモニター建材の最新情報を更新中 -

CLASS1 ARCHITECT

<https://moniken.class1.jp>



01

表情豊かな風合いが魅力の手づくりタイル

クレイマイスターライト

創刊号
掲載製品



1枚1枚、職人の手作業により生み出される手づくりタイル。そのオンリーワンの風合いは、建物の個性として活躍してくれること間違いなし。他にはない注目の逸品です。

1
名様



織部製陶株式会社

●ご提供内容 **10m²**

※タイルサイズ：H 250mm × W 40mm
厚み：10mm



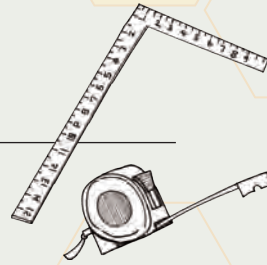
応募は
コチラから!

03

コンパクトな収納性が特徴の間仕切りシステム

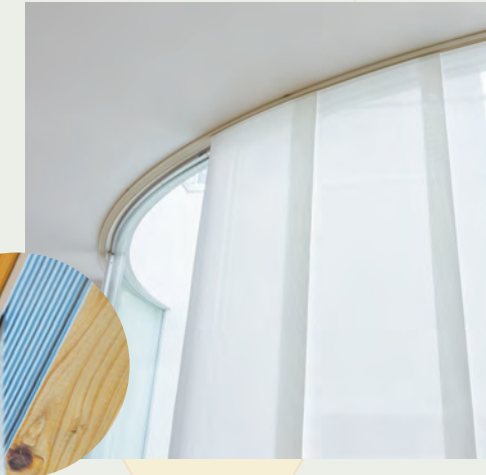
ZIPrail® Screen

創刊号
掲載製品



1本6連のレールで構成されるコンパクトな間仕切りシステム。吊したスクリーンは横に動くため、開閉チェーンもなく安全。お子様がいらっしゃるご家庭にもおすすめです。

3
名様



株式会社SHY

●ご提供内容

ZIPrail® Screen 1台 2000mmまで

ファスナー付き暗幕もセット ※詳しくはWEBまで
W2000mm × H2000mm 4m² まで



応募は
コチラから!

02

外でも腐りにくい天然木

エステックウッド アッシュ ラフ

創刊号
掲載製品

驚異の防腐機能をそなえた天然木。乾燥が速く耐水性にも優れているため、屋外での使用も可能です。どこをカットしても均一な色と性質を維持できるのも魅力。

2
名様



江間忠木材株式会社

●ご提供内容 **20平米以下**

※乱巾(95、105、120、140mm)と
乱尺(450、900、1350、1822、2250mm)による
複数サイズの組み合わせになります。



応募は
コチラから!

04

パンチングメタルでスタイリッシュなデザインを提案

デザインフェンス カターゴ

パンチングメタルの機能性に、多彩な意匠性が加わったスタイリッシュなデザインフェンス。日射と視線を遮りつつ、ほどよい光と風を取り込んでくれます。

2
名様



タイプR



株式会社クリエイトダイス

●ご提供内容

**タイプR、タイプM、タイプKから選択、
お選びいただいたタイプを10枚。**

※タイプによりサイズが異なります。
詳しくは下のQRコードまで!



応募は
コチラから!



タイプK

タイプM

モニター
建材の流れ

STEP1

QRコードからご応募



STEP2

当選通知が来る



STEP3

建材が届く



STEP4

モニター開始



STEP5

レビュー・写真を送信



2019年7月19日(金)

応募者の中から厳正な抽選のうえ、ご当選者には編集部よりお電話またはメールにてご連絡させていただきます。

※当選に関するお問い合わせにはお答えできませんのでご了承ください。

応募
締切

LOCAL 建材

株式会社第一
代表取締役

浅野 達也 × 金沢箔

石川県

初代加賀藩主・前田利家公の時代から受け継がれた伝統工芸技術の一つが「金箔」である。日本の金箔生産量の98%以上を占める金沢では、気候や風土も適しており、忍耐強い「職人気質」があるといわれている。

「箔」が持つ、新たな魅力。

培われた感性が活きる建材づくり

当社はこれまで、器や文房具などの工芸品をはじめとした、様々な分野の箔商品を製作してきました。その中の一つとして、壁に飾る小さなパネルがあったのですが、それが案件をこなすうちに徐々に大きくなり、インテリアから「空間」規模の装飾品に進化していきました。この進化のターニングポイントといえる出来事が、*箔巧館のエンタランスに2~3mの大きなボードを造ったことです。この一件が新聞に取り上げられ、「箔一、建材業界へ参入」という見出しが付いたときは、建材という目線がセンセーショナルなんだな、と思いましたね。そして、実際に建材の分野に携わっていく中で、新たな箔の魅力にも気付いたんです。箔は一枚一枚違う表情を持っているため、バランスよく並べると、全体として何とも言えない光を私たちに投げかけてくれます。建材としての箔は、近くで見ても美しいかどうかではなく、離れたときに美しいかどうか大切だということ。そして、その見せ方の工夫に私たちのノウハウを活かしたいと思っています。

*箔巧館：箔一本社内「体感型金箔総合ミュージアム」



Tatsuya Asano

昭和43年金沢市生まれ。株式会社第一代表取締役社長。2009年に箔一の社長に就任し、「金沢箔」という地域ブランドを築き上げた創業者の想いを引き継ぎ、さらに「金沢箔」の新しい価値を創り続けている。

建築家の“創造的思考”への参画

建築家さんというのはやっぱりアーティスト。そのため、建築という分野での箔製品づくりには、独特の難しさを感じます。例えば、過去に壁面の装飾依頼を受けたことがあったのですが、その内容が「空から金の光が地上に降ってくるようなデザイン」というものでした。具体的なことは一切わからず、この光が、柔らかい光なのか、鋭い光なのか、建築家さんの言葉から感じ取って想像するしかありませんでした。そこで私は、「自分もその場に参画し、納めたときにそれが私自身の作品のように誇らしげになるものを創らなければならない」と思ったんです。そのため、その建物を一緒に建築するつもりで、各部屋や外観など、担当以外の話を現場で聞いて回り、まずは建築物全体のイメージを把握することから努めました。このような経験から、建築の分野では、「建築家さんのイメージに私たちが参画しながら、作品を創りあげることが大事なのではないか」ということを学んだのです。

「金沢箔」を、未来に受け継ぎたい想い

現代の日本では、幅広い分野における海外進出やインバウンドの拡大により、国外との接点が多くなりましたね。その中で、日本の歴史ある伝統産業という個性は、海外の目にも魅力的に映ると思いますので、「伝統産業を残す」ということは非常に価値があると思うんです。ですが、そこで私たちが工夫や苦勞をしない限り、絶対に伝統産業を残すことはできません。では、何が大切なのかというと、「古いものを現代に活かしていくこと」ではないでしょうか。そのためにも、建築の分野では、様々な建築家さんに箔を用いて、独自の世界観を具現化してもらえたらいいなと思っています。正直、箔は個性がありすぎるため、扱いづらい素材かもしれませんが、実際に使用すると、その建築物がその人にとっての代表作になるくらい魅力的な素材でもあります。そのため、まずは当社にぜひ一度足を運んでいただいて、多くの人に「金沢箔」というものを知って頂けたら嬉しく思います。



上/建築業界初の金箔硝子を使用した銀座ヤマハビル



株式会社 箔一

〒921-8061
石川県金沢市
森戸2-1-1
TEL076-240-8911

TANken

2019年夏頃リリース予定

PCやスマートフォンからも閲覧可能な「CLASS1 ARCHITECTデジタルブック」。
毎号の最新データをバックナンバーとともに配信いたします！



TANkenは、建材探しを通して新しい発見とワクワクする時間をお届けする建材探索Webアプリ。

カタログ請求やお見積依頼、お問い合わせなどの機能を利用し気になる建材情報を簡単に入手できます。

そのほか、ニュースやモニター建材などオリジナルコンテンツも充実。

スマホひとつで、お探しの建材がきっと見つかります。

※会員登録料、コンテンツ使用料もすべて無料！

無料会員登録料でTANkenオリジナル楽曲「建築士の詩」プレゼント🎵

SPECIAL THANKS

Architect
遠藤 克彦 様

Manufacturer

- タケイ工業株式会社 様
- 有限会社 阪本製作所 様
- アイオーシー株式会社 様
- 旭ビルウォール株式会社 様
- 株式会社LIXIL 様
- Kvadrat Japan株式会社 様
- 東邦レオ株式会社 様
- 富士工業株式会社 様
- 株式会社箔一 様

Architecture

Ark 久が原

Photo

- 上田 宏 様
- (5P/6P/11P右/15P下)
- エスエス大阪支店 津田 裕之 様
- (15P上)

NEXT CLASS 1

特集

地元産木材が惜しみなく使われた、岩手県の校舎と消防署。そんな地域に寄り添う2つの建築物を支える建材とは…？

vol.02のゲスト、遠藤克彦氏がバトンを繋いだ著名建築家にご紹介いただきます。次号のゲストもお楽しみに！

(※特集企画は、場合によって変更することがございます。)

次号vol.03は2019年夏頃の発行予定です

編集後記

CLASS1 ARCHITECT Vol.02を最後までお読み下さり、ありがとうございます。創刊号の発行後には、大変嬉しい事に本誌をお届けした建築士さまから、応援のお電話等を頂くこともあり、スタッフ一同の励みとなりました(涙) また、同封のQRコード付きアンケートにご回答頂いた建築士さまにも心よりお礼申し上げます。さて、今回のVol.02では、建築家さまと建材メーカーさまによる新企画、「コラボレーション建材」がスタートしました！今後、どのようなプロダクトが生まれるのか？ 私たちも今後の動向がとても楽しみです♪ CLASS1 ARCHITECTでは、引き続き、皆様に「面白い！」と言って頂ける誌面作りを全力で行ってまいりますので、今後とも応援頂けますよう、どうぞよろしくお願い致します(^^)

それは、
窓を覆う小さなドレス。

Sivoia QS

Total Light Control by Lutron

電動ウインドートリートメントシステム



Under
44 dB 44dB以下の静音動作

75% Heat Reflection 平均75%の熱反射効果

精密に設計され、優れた静音性を兼ね備えた
ルutronの超静音電動ロールスクリーンは、
照明制御と連動し、最適な光環境を創り出します。



シータッチQSキーパッドで連動して、
最適な光環境へ。